

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 9 (令和元年9月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

信州型コミュニティスクールの取組がスタートし7年目を迎えました。北信地区では、国のコミュニティ・スクールを含め、すべての小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下、「信州型CS」）の仕組みが整い、各校ともコミュニティスクールの充実に向けて活動を行っています。第9号では、学校・家庭・地域が連携・協働していくために行われている「子ども達の育ちについて語り合う会」についてお知らせします。

長丘小・平岡小
科野小・倭小



「高社小学校を語る会」

Ⅱ 統合を見据えての連携・協働

令和2年度、中野市北部地区四校（長丘小・平岡小・科野小・倭小）が統合し「高社小学校」が開校します。開校に向けて、4小学校のコミュニティスクール関係者（コーディネーター・PTA5学年代表・育成会長・学校長）の皆さんが集まり、語り合う初めての会が開かれました。

情報交換では、立場も学校も異なるメンバーになるようにグルーピングして「高社小学校で育てたい子ども達の姿とは」「そのために地域では何ができるのか」を議題としたざっくばらんな話し合いが行われました。



今、地域があいさつであれば、子ども達も！と頑張っています。ぜひ高社小にも引き継ぎたいです。

Ⅱ 子どもの姿を語ると「笑顔」…感想より

統合に関わっておられる先生から「これまで、統合の話になると、子ども達のことを思うあまり、環境をどう整えるかに話が向きがちだったが、今日は子どもの姿を笑顔で語る明るい会になりました。」との感想が語られました。

ポイント
子ども達の姿を語る活動は、前向きな連携・協働に繋がります





より参加しやすい形の会へと発展させた「語る会」

昨年度より「民生児童委員と学校職員との懇談会」と「地区懇談会」をまとめ、「戸倉小の子どもを語る会」として夏休み中に開催されています。

今回は、約40人のみなさんが参加されました。



ポイント

これまでの形にとらわれず、参加しやすい方法を考えることも大切です

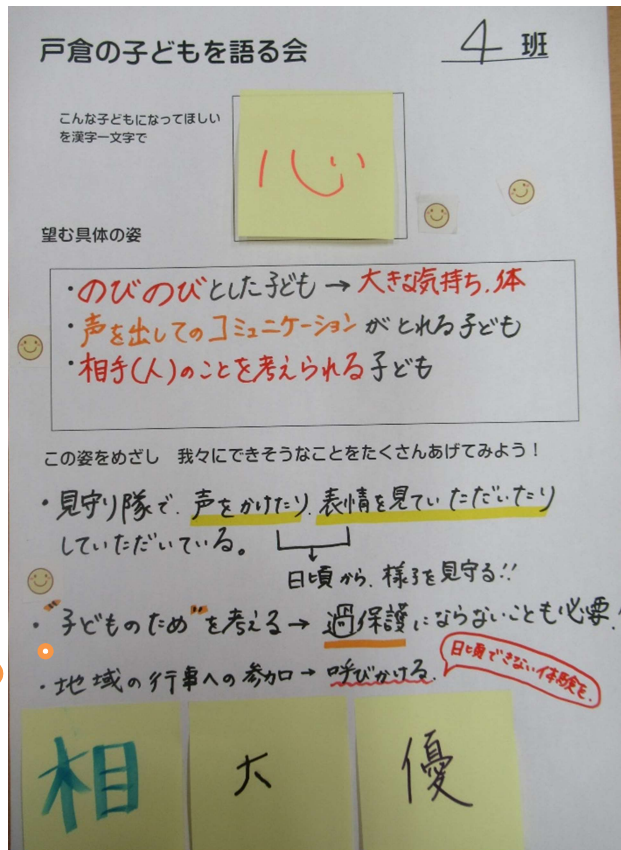


小グループでの話し合い「漢字一文字で」



今回の話し合いでは、地域でめざす子ども達の姿を漢字一文字で表し、グループ内で発表しながら、学校で、地域でできることを出し合いました。一文字に込められた想いを聞く度にうなずき合う参加者の皆さんの姿が印象的でした。

日頃の活動が、子ども達の育ちに繋がることが分かります



地域も、学校も同じ方向を向いて！

「子どもの為に、地域の為に、連携・協働」

コミュニティスクールの取組を充実させていくために、学校・家庭・地域が「どんな子どもを育てるか」目標を共有し、「それぞれができること」を実践していく「協働活動」を行うことが効果的です。

目標に向かって、学校は地域に開く授業や活動を行い、家庭・地域は学校支援や子どもを育む活動を行うことで、一方向の学校支援から双方向の「協働活動」となり、より一層教育効果が高まることが期待されます。

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたらと思います。

■■ お問い合わせ先 ■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1
Tel: 026-234-9552 E-mail: hokushinky@pref.nagano.lg.jp